

なとり市議会だより

2023.11.1 No.184 令和5年9月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

議員が聞いたこんなこと…………… P2

新たな一般廃棄物最終処分場建設候補予定地を選定する委員会にかかる費用を措置しました …… P8

税金の使い道をチェックしました…………… P10

N-WATCH(エヌ・ウオッチ)…………… P16

地域力お宝たんけん

©「なとり潮風通信」仙台CATVより

議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について市議会議員が市に対して質問を行います。

9月定例会では、10人の議員から20項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



熱中症対策

熱中症対策として学校や公共施設に給水機の設置を



菅原 和子

Q 令和5年は全国各地で最高気温が更新され、猛暑日が続くなど災害級の危険な暑さに見舞われた。内閣府が発表した消費動向調査によると、エアコンの普及率は単身男性高齢者層で約79%である。外出を控えエアコンがない環境下で熱中症のリスクが懸念される。高齢者や低所得者に対し、エアコン設置に要する費用を助成すべき。

A 高齢者の対応で、地域包括支援センターの職員が熱中症アンバサダーとして予防方法の啓発活動を展開している。費用助成について取り組む考えはない。

A 熱中症予防指針を目安に教職員による健康観察の徹底、活動中の適度な休憩、冷却剤の準備など熱中症予防に努めている。

また、普通教室や特別支援教室、図書室等に空調設備を整備し、熱中症対策を講じていることから、給水機の設置については今のところ考えていない。

Q 熱中症対策やペットボトル削減にもつながるマイボトルの普及の取組として、学校や公共施設にマイボトル対応給水機の設置が広がっている。本市でも取り組むべき。

質問した内容
1 熱中症対策
2 LGBTQ+

A 熱中症対策として、公共施設等をクーリングシエル

策

高館公民館の現状と
改築計画は



長南 良彦

Q 現在改築中の下増田公民館は11月開館予定で、また、館腰公民館も令和8年度の開館に向け改築が進められている。高館公民館の建築年数や老朽化等を踏まえた今後の改築計画を伺う。

A 具体的な計画はないが建築年数や人口の伸び、利用状況などを総合的に勘案し検討する。

Q 現在の高館公民館は、県の土砂災害警戒区域の指定箇所であり、本市の指定避難所の対象外となっている。和室や空調設備がある公民館を、一時避難所として活用できるように再考すべき。

A 住民等の生命、身体に危害が生ずるおそれがある区域のため、現時点で避難先としての活用は考えていない。

Q 近年、高館地区では土地区画整理事業が計画されており、今後世帯数や児童数の増加が見込まれる。また、現在の公民館は築40年が経

過し老朽化が進んでおり、周辺一帯の道路も狭く危険で事業を企画する上で課題も多い。公民館と児童センターを合築し、複合施設として小学校周辺への移転が望ましい。安全性と利便性を両立した移転改築プランを作成すべき。

A 利用状況などを総合的に勘案し、教育委員会と調整する。

A 今後の動向を踏まえ、市長部局と調整する。

- 質問した内容
- 1 公民館の職員体制
 - 2 高館公民館の現状と今後の改築計画
 - 3 投票率の向上に向けた取組



福祉

夏季休業中の児童センター
利用者に注文弁当を



荒川 洋平

Q 各児童センターの定員と今期夏季休業中の利用申請児童数は。

A 利用定員は合計で1040人であるが、登録児童数の1181人と、夏季休業中のみ登録の303人を合わせて1484人の利用申請があった。

Q 定員に対して、夏季休業中の利用申請で最も大きな差があった児童センターは。

A 増田児童センターで、定員180人に対して303人の申請があった。

Q 長期休業中の児童センターの運営は、通常時と比べ業務量が大幅に増える。適正な数の職員を配置し、学生や地域のボランティアを募集するなど、安全で健全な管理運営を行うべき。

A 適正な職員数確保に努めている。また、学生や地域のボランティアに、安全で健全な管理運営に御協力いただいている。

Q 職員やボランティアの数は十分足りている認識か。

A 職員は精神的な負担も伴うことから、短期雇用の職員やボランティアは、可能な限り増やしていければと考えている。

Q 保護者の負担を減らすため、希望する子供たちに注文弁当を提供する事業を検討すべき。

A 全国的にも様々な手法により、昼食を提供する児童館が増えつつある。現状では予定はないが、県内他市の動向を確認しながら、情報収集していきたい。

- 質問した内容
- 1 熱中症対策
 - 2 長期休業中の児童センターの利用

持続可能な水道事業には 専門知識と技術の集積が必要



主計 長 久保 大久保

Q 高館浄水場の第三者委託の評価と課題は何か。

A 技術力は申し分なく、課題は緊急時などの連携強化である。

Q 第三者委託は技術職の退職が要因であるが、計画的な採用をしなかったのか。

A 本来であれば長期的な考えで対応すべきだったが、現実問題として対応した。

Q 水道事業に係る専門的な人材と技術者の育成や、知識と技術の継承に取り組み、公営による持続可能な水道事業を目指すべき。

A 専門的な知識と技術の継承問題は重要な課題で、職員への育成に力を入れ運営を行っていく。

Q 第六次名取市行財政改革大綱を見直して水道事業における技術職員の専従化、プロフェッショナルな技術職員を組織的に配置する必要性があると考えますが、どうか。

A 水道事業全体を広域化に組み込む考えはなく、本市独自で水を提供していく。浄水場は第三者に委託し、その他は直営として進め、必要な技術をしつかり学び継承できる体制を作っていく。

Q 持続可能な水道事業を判断できる人材、技術者を育成するため行財政改革大綱を見直して、専門の技術職を置く必要があると考えるが、どうか。

A 専門的な知識、技術を持った職員を置く必要があるが、必ずしも専属である必要があるか、この場ではお答えしかねる。

- 質問した内容
- 1 歯科保健に関する条例
 - 2 児童生徒の安全な登下校
 - 3 水道事業

市町村合併を検討する 協議の場の設置を提案すべき



良 吉田

Q 仙台市と合併した場合のメリットとデメリットは何が考えられるのか。

A 市町村合併は個別に事情が異なり、合併形態にもよることから、確定的に申し上げることは難しい。

Q 本市のメリットの一つは、仙台市地下鉄を名取に伸ばす構想を議論する土台が整うことである。これは市長の一期目の選挙公約だが、現在も残っているのか。

A 私が市長の間は白紙である。

Q 本市が、東北の若者の首都圏流出を食い止める人口のダム機能強化を目指す旗振り役となり、県及び仙台市に対し市町村合併を検討するための場の設置を提案すべき。

A 自主的な市町村合併の検討という形ではなく、仙台都市圏域全体の中でそのような機能の一部を果たせればと考えている。

Q 令和5年2月、富谷市による地下鉄整備の事業化検討調査の概要が示された。ルートの大部分は仙台市域にあり、地下鉄にこだわるなら両市の合併が最も近道だろう。泉区は5つの区で唯一人口が減少しており、仙台市にとっても北に隣接する富谷市との合併は悪い話ではない。新駅の計画地には病院の用地も確保されている。富谷市と競争するわけではないが、良い条件を得るために真っ先に決断すべき。

A 具体について、公の場で協議できる内容ではないと考える。

- 質問した内容
- 1 児童生徒の学力向上
 - 2 仙台市との合併構想

令和3年 都道府県別人口増減率(ワースト)単位:%

| | | |
|-----|-----|-------|
| 1位 | 秋田県 | -15.2 |
| 2位 | 青森県 | -13.5 |
| 3位 | 山形県 | -12.3 |
| 4位 | 長崎県 | -11.8 |
| 5位 | 岩手県 | -11.6 |
| 5位 | 福島県 | -11.6 |
| : | | |
| 38位 | 宮城県 | -5.1 |
| | 全国 | -5.1 |

総務省統計局「日本の統計2023」より

感染症
対策

ワクチン接種後の サポート体制を強化すべき



大友 康信

Q 令和5年3月にはWHO、7月には日本医師会から、

リスクの高い人以外に積極的に新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかける必要はないという報道があった。令和4年8月以降、多くの国で追加接種をしていないが、厚生労働省では頻回接種を進めている。これから接種を考えている市民の判断材料となる接種の案内に、最新情報を盛り込むべき。

A アメリカやイギリスでは、現在も重症化リスクの高い者に追加接種が行われている。最新の情報があれば、迅速な発信に努めていく。

Q 本市の予防接種健康被害救済制度の申請と認定の件数は。

A 令和3年度は申請が6件で、うち認定が3件である。

Q 令和3年2月から令和5年8月までの全国の申請件数は8652件、認定件数は8月末現在で3888件である。うち死亡210件

が認定されている。44年前からの全ての予防接種健康被害の認定件数を超えている。このようなこともお知らせするのか。

QA 申請はハードルが高い。大阪府泉大津市を参考に健康被害救済のサポート体制を強化すべき。

A 相談があった際には、相談内容を丁寧に向った上で、市民に寄り添った対応を行う。

質問した内容 1 新型コロナワクチン接種推進

福祉

発達障害への取組と課題、 今後の進め方は



齋 浩美

Q 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画における発達障害についての取組と課題は。

A 発達障害が子供者に特化した支援に当たった課題や目標の設定は行っていない。発達障害は、人によって障害の特徴が複数重なり合っていたり、年齢や環境によって症状に変化が見られるので、個々の状況に応じた支援をいかに提供していくかが課題である。

Q 次期障害福祉計画・障害児福祉計画には、発達障害についても盛り込み、取組を加速すべき。

A 次期計画では、発達障害がい児者及びその家族への支援体制の構築が図られるよう、国の指針にのっとり目標値を定め、発達障害がい児者への支援に取り組む。

Q 発達障害がい児者のライフステージに合わせ、支援や情報共有ができるように多領域・多職種連携体制を

早急に構築すべき。

A 名取市障がい者等地域づくり協議会にて、多職種・多職種が連携した支援に向けて取り組んでいる。協議会を通じ、より一層の充実を図りたい。

A 特別支援連携協議会において、各専門的見地からよりよい特別支援教育の在り方について、御意見をいただいている。課題は、協議会が年1回のみであることや、幼保小連携、中高連携、就学支援等の充実があるが、解決に取り組みたい。

質問した内容 1 防災の取組 2 発達障害についての課題と求められる取組





菊地 昌夫



笹森 波

Q 市民の声を有効活用し、本市の行政の考え方を市民と共有できるよう、データベース化し、市民の声の見える化を図るべき。

A 市民からいただいた要望や意見、提案等は受付後、担当部署において2週間以内に回答するほか、関係部署との情報共有を行っている。なお、令和6年度更新予定のホームページにおいてA-チャットボットを導入し「よくある質問」を設定することで、データベースの整備を検討している。

Q 本市独自の施策も多岐にわたり、現在のパブリックコメントの実施対象のみでは、より多くの市民の声を聞き、酌み取ることは難しい。各種事業の計画案、具体的な施策案についても、公聴会やシンポジウム、フォーラム、さらにLINE公式アカウントを活用したアンケートにより、幅広い市民の声を酌み取れる仕組み

みづくりを行うべき。

A 必要に応じ、まちづくりディスカッションや市民懇談会、アンケートなどで意見をいただいている。LINEによるアンケートでは、特定の年齢層や意見の偏りなどの懸念があると捉えている。なお、DXで導入予定の情報発信プラットフォームはアンケート機能を持っており、施策や計画などの内容により、有効的な活用を検討していきたい。

特定の情報発信プラットフォームはアンケート機能を持っており、施策や計画などの内容により、有効的な活用を検討していきたい。

質問した内容
1 広聴・広報

Q 本市における、直近3か

A 年の熱中症症状による搬送人数と屋内・屋外の内訳は、搬送人数の合計は106人で、屋内が47人、屋外が59人である。

Q 市立学校の特別教室へ、空調設備設置を検討してきた経緯はあるのか。また、使用頻度の高い中学校の理科室と美術室に、早急に空調設備を設置すべき。

A 令和元年6月に普通教室等への空調設備を設置した後、その他の教室等について、学校の実情や児童生徒が使用する頻度を確認しながら整備している。これまでに中学校の学び支援教室や音楽室等に設置している。今後も各学校の現状を確認していきたい。

Q 令和5年度に大規模改修予定の不二が丘小学校の天井に断熱効果を高めるため断熱材を入れ、内窓を設置すべき。

A 不二が丘小学校での室温調査において、外気温33.1度に対して室温26.8度に保たれており、現時点では断熱効果を高めるための改修工事は考えてない。今後、近隣自治体や国の動向を注視していきたい。

Q 市立学校の教室の窓に遮光フィルム、気泡緩衝材及びすだれ等を設置し、断熱対策に取り組むべき。

A 教室の室温は、エアコンによる一定の空調効果が保たれているため、これ以上の対策は現時点では考えていない。

質問した内容
1 教育環境の改善
2 多文化共生社会の実現





小野寺 美穂

AQ デジタル教科書の現状は。
英語は小学校・義務教育
学校の5・6年生、中学校
全ての学年と義務教育学校
の7から9年生、算数・数
学は、学びの保障充実のた
めの学習者用デジタル教科
書実証事業に参加している
学校でデジタル教科書を使
用している。メリットは、
英語でネイティブの発音が
繰り返し聞けること、一般
的には図表の拡大表示や書
き込み、保存や検索ができ
ること等が挙げられる。現
時点では、効果的な場面で
デジタル教科書を併用する
のが望ましいと考えている。

Q 子供の学びにとって重要
な教師との関係性を重視し、
身近な大人との応答関係で
育まれる発達保障に、教科
書のデジタル化が及ぼす影
響を再確認すべき。

A 子供の発達には、直接的
な人間関係の中で学ぶこと
が大切だと認識している。
教科書のデジタル化により

子供の発達には、直接的な人間関係の中で学ぶことが大切だと認識している。教科書のデジタル化により



質問した内容
1 自衛官募集事務
2 教員の負担軽減とデジタル教科書の方向性

Q デジタル教科書に関係する
企業が公教育に参入する
ことで、憲法で保障されて
いる「等しく」「無償」が
大きく脅かされることが懸
念される。導入については
慎重に進めるべき。

A デジタル教科書や副教材
の導入については、児童生
徒の学習環境や保護者負担
に配慮していきたい。

デジタル教科書や副教材の導入については、児童生徒の学習環境や保護者負担に配慮していきたい。

● 9月定例会 議案審議 ●

名取市の
こんなことが決まりました

9月定例会 会期 9月6日～28日

9月定例会の議案は
市長提出議案

| | |
|-------------|----|
| 報告 | 4件 |
| 認定 | 3件 |
| 条例 | 3件 |
| 補正予算 | 9件 |
| 同意 | 2件 |
| 議決案 | 2件 |
| 議員提出議案 | |
| 意見書 | 1件 |
| 計24件 | |

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



Pick up 1

新たな一般廃棄物最終処分場建設候補予定地を選定する委員会にかかる費用を措置しました

こんな質疑がありました

Q（仮称）最終処分場用地選

定委員会の委員は何名か。また、選定方法とスケジュールは。

A 5名に依頼予定である。

有識者が3名で水環境、地盤工学、廃棄物関係の専門的知見により意見をいただきました。また、関係団体から2名で廃棄物処理の実務的視点から意見をいただきました。

スケジュールは、令和6年度中に巨理名取共立衛生処理組合に詳細調査を依頼したい。

Q 候補地の公募は行うのか。また、選定後はどのように進めるのか。

A 公募は行わない。まずは

図上調査で建設可能なところを抽出する。次に地形やインフラの整備状況等を考えて絞り込みをかける。この際、候補地が複数になった場合には巨理名取共立衛生処理組合に調査を依頼し、結果を踏まえて委員会で検討し、1か所が選定される。いずれの段階においても住民に説明する。

Q 市民球場改修工事の具体的内容は。

A 内野の土の入れ替え、ス

コアボードとバックネット裏のポールカウント表示の改修、得点板と選手名の掲示部分へのLED表示の組み込み及び3塁側の外駐車場に防球ネットを張る予定である。

Q 東須賀トイレ災害復旧工事の場所の詳細は。

A 広浦橋を渡って左の漁港

入口付近に設置予定である。工事内容とスケジュールの詳細は。

A 仕様はユニット式で男子・女子・多目的トイレを並列に配置する。大型介助ベッド、防犯カメラ、ブザー及び人感センサー付き照明を設置する。令和5年度末の完成を目指す。



Pick up **2**

開示請求に対し部分開示決定を行ったことは違法との判決を不服とし控訴します

元市民が自身の小・中学校の指導要録の開示請求を行ったことに対し、教育委員会が部分開示決定を行ったことは国家賠償法上、違法であるという判決について、違法性は認められず、原告の請求には理由がないと考え、判決を不服とし上訴します。

こんな質疑がありました

AQ **知る権利とのバランスは、指導要録は指導に生かすための公簿であり、児童生徒のプラス面やマイナスイメージも記載する。知る権利は非常に大事だが、開示が前提となると、指導要録に当たり障りのないことしか書けなくなってしまうことが危惧される。所見や指導上参考となる事項の部分については、判例や県教育委員会の通知にのっとり、部分開**

AQ **示とした。控訴に至った経過は、まずは教育委員会で判断し、市長部局と協議の上、控訴すると判断した。**

A **なぜ和解できなかったのか。裁判所から和解を勧められたが、その内容ではお互い歩み寄りがなかった。**

審議結果

※ ○は賛成、×は反対

▶ 賛否が分かれたもの

| 会議名 | 提出者 | 議案番号 | 件名 | 審議結果 | 議員名（議席番号順） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|--------|-------------------|------|------------|------|-----|------|------|------|-------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|
| | | | | | 菊地昌夫 | 熊谷克彦 | 笹森波 | 千葉栄幸 | 板橋美保 | 大泉徳子 | 大久保主計 | 齋浩美 | 菅原和子 | 吉田良 | 荒川洋平 | 大友康信 | 及川秀一 | 佐藤正博 | 長南良彦 | 小野寺美穂 | 郷内良治 | 丹野政喜 | 山田龍太郎 |
| 第4回定例会 | 市長 | 議案第68号 | 名取市印鑑条例の一部を改正する条例 | 可決 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 議案第82号 | 控訴の提起について | 可決 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



税金の使い道を

チェックしました

一般会計歳入総額

365億1,744万円

一般会計歳出総額

348億3,770万円

市長から提出された令和4年度の決算について、財務常任委員会において審査を行いました。

財務常任委員会では、一般会計歳入を全体会で、一般会計歳出・特別会計・企業会計を3つの分科会で分担して審査を行いました。

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



総括質疑 1

会派名 名和会

板橋 美保 議員

大規模盛土造成地・空家等の対策は

- Q** 県により抽出された32か所の大規模盛土造成地の評価と取組について伺う。
- A** 対象箇所危険性を評価し、2か所は危険範囲の測量や地質調査などの詳細調査を実施し、安全性を確認した。残る30か所は経過観察を行うこととした。
- Q** 空家等対策協議会の開催実績と特定空家等の所有者等に対する措置の検討は。
- A** 令和4年7月8日と10月18日に開催し、市が把握する空き家の実態調査の結果報告や先進的な空き家の活用事例集の掲載内容などを協議した。令和4年度に特定空家等へ認定した物件はなく、所有者等に対する措置の検討には至っていない。

決算審査のスケジュール

| 日にち | 内容 |
|----------|--------------------------------|
| 9月21日(木) | 本会議 (総括質疑) 全体会 (一般会計歳入補足説明) |
| 22日(金) | 全体会 (一般会計歳入) |
| 25日(月) | 第1分科会 (総務部・企画部・消防本部ほか) |
| 26日(火) | 第2分科会 (生活経済部・建設部ほか) |
| 27日(水) | 第3分科会 (健康福祉部・教育部ほか) |
| 28日(木) | 全体会 (分科会委員長報告・採決) 本会議 (採決) |

総括質疑3

会派名 青雲倶楽部

熊谷 克彦 議員

下余田と館腰でのほ場整備の取組は

A Q

Q ウス等を活用した取組内容と成果は。

子どもの心のケアハウスでは小学生7名、中学生14名に対し個別支援を行い、学校等への登校につなげた。スクールソーシャルワーカーには118件の相談があり、9件が解決、34件が好転した。

A Q

Q 下余田2期地区と館腰南地区のほ場整備の取組は。

A 下余田2期地区は、農地の集約と営農構想等について地元役員等と協議を行い、県の事業選定と国への本申請に向け取り組んだ。館腰南地区は、区域の地形図を作成し、地元役員等と検討を行い、県に基本計画策定等受託を要請するための事務を進めた。

総括質疑2

会派名 日本共産党議員団

齋 浩美 議員

館腰地区の短期浸水対策の取組などは

A Q

Q 館腰地区での短期浸水対策の実績と課題は。

A 令和4年度に実施した短期浸水対策において、水の流れを円滑にするため、館腰承水路壁面の凹凸区間248㍍のうち、下流側130㍍の平滑化工事と、市街地への逆流対策として逆流防止ゲート5か所の設置を行った。

課題は、残延長118㍍の平滑化工事と、JR横断管渠及び周辺水路工事の早期完成を図ることである。

第1分科会 まちづくりディスカッションを行いました

総務費では、職員の時間外勤務の適切な管理や情報開示の実績、まちづくりディスカッション



の開催方法と成果、移住支援事業の取組内容と実績、特殊詐欺の実態と対応状況、交通指導隊の活動状況等について審査しました。

消防費では、危険物施設や防火対象物の査察指導の実績、救急搬送困難事案の対応状況及び消防職員の教育訓練の実施状況や女性消防隊の活動状況、名取市地区防災マニュアルの活用状況及び防災ラジオ設置における対応状況、水防協議会の協議内容等について審査しました。

全体会 歳入について様々な角度から質疑を行いました

市税の納付では、口座振替の推進、納期内納付の推進、県地方税滞納整理機構との連携、納税相談等について審査しました。



市税の課税では、固定資産税に係る新築や建物滅失の把握方法、法人市民税に係る法人設立数と廃業数、入湯税に係る増の要因、市町村たばこ税に係る売渡し本数等、税目ごとに審査しました。

国及び県からの交付金では、法人事業税の交付金増の要因、地方消費税交付金の内容等を審査しました。

保育料、住宅使用料、学校給食費等では、収入未済状況及び未納者への適切な対応等歳入全般にわたり市民目線で審査しました。

第3分科会 成人式（二十歳を祝う会）の執行委員を募集しました

民生費では、避難行動要支援者対策事業の取組と実績、計画相談・障害児相談支援事業の取組と実績、保育所の一時預かり事業の実績と課題等について審査しました。



衛生費では、産後ケア事業の実績、自死対策計画推進事業の取組と実績等について審査しました。

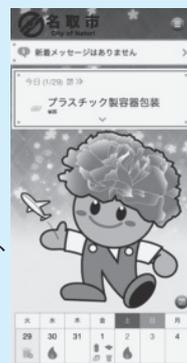
教育費では、不登校児童生徒の実態や取組、いじめ防止対策調査委員会の取組、成人式（二十歳を祝う会）の開催方法と評価、学校給食の食育に対する取組等について審査しました。

国民健康保険特別会計では、保険税滞納者への対応、介護保険特別会計では、介護認定審査会の取組と課題等を審査しました。

第2分科会 ごみ分別促進アプリの利用促進に取り組みました

総務費では、コンビニエンスストア自動交付サービス事業における実績と効果等について審査しました。

衛生費では、再生可能エネルギー導入計画等策定事業の取組状況、ごみ分別促進アプリの登録者数と利用促進の取組等について審査しました。



農林水産業費では、農業担い手育成事業における新規就農者に対する支援の状況、農道整備事業における整備の状況等について審査しました。

商工費では、震災復興伝承館の利用状況と課題等について審査しました。

土木費では、大規模盛土造成地の評価と検証の取組等について審査しました。

令和4年度決算審査 討 論

このような理由で、賛成しました

賛成

吉田 良 議員
(一般会計)

一般会計の実質収支は13億7931万円の黒字となり、単年度収支及び実質単年度収支が黒字へと転換した。その背景には、復旧・復興事業分や繰越事業分の減少という状況の変化に加え、的確な行財政運営に向けた全庁的努力があったものと捉えた。

教育費の構成比は12.35%と、震災前の水準にまで回復した。施設の改造・改築等に係る費用が大きいとはいえ、教育分野への予算配分が厚くなったことは高く評価したい。今後も10%以上の水準を維持し、本市の教育環境の一層の充実に努められるよう願う。

賛成

小野寺 美穂 議員
(一般会計)

避難行動要支援者対策事業において、早期の個別計画策定に努めるべき。公立保育所の安全対策や防犯訓練などの取組については評価する。医療的ケア児支援事業では、事業者の理解や協力を深める取組を求める。被災者生活支援事業では、高齢化や独居世帯が増加する中で、認知症や生活困窮などの困り事相談に継続した対応を求める。

仙台せりのブランド確立に向けては、GI登録を進めるべき。産学官連携促進事業では、キララゲの認知度向上と販路確立に向けた取組の検討をすべき。学校・家庭・地域連携協力推進事業では、各学校の要望を酌み上げ、実情に応じた対応を求める。

委員会活動報告

7月から8月初旬に各常任委員会の行政視察を実施しましたので、お知らせします。

各常任委員会では、これらの学んだ成果を生かし、積極的に活動を展開しています。

委員会調査報告書は、市議会ホームページで御覧いただけます。



総務消防

兵庫県明石市・徳島県鳴門市・大阪府池田市を視察しました

明石市では、広報で広がるまちづくりという考え方で読んでもらえる広報紙を目指している。アンケート調査を行い、知りたい情報や市民に親しまれる紙面作成等の説明を受けた。

鳴門市では、防災拠点としての役割を兼ねた道の駅を視察した。屋上の広場は普段は憩いの場で、非常時

には津波の避難所となるなどの説明を受けた。

池田市では、住民主体で高齢者の移動の確保に取り組み、予約アプリの開発を産学官連携で行ったとの説明を受けた。

今回の視察で学んだ事案を基に、市民の福祉向上を図られるよう提言等を行っていく。

建設経済

宮崎県宮崎市・宮崎県都城市・鹿児島県薩摩川内市を視察しました

宮崎市では、中心市街地の空き店舗に10年間で3000人を新たに雇用し、その経済活動による地域経済の活性化を目標にした「シマチナカ3000プロジェクト」について調査した。

都城市では、道の駅の公益機能と収益力を合わせ、物産振興と交流人口の拡大を目的とする「物産振興拠点施設整備事業」について調査した。

薩摩川内市では、太陽光発電・バイオマス発電などの次世代エネルギーの導入や地球にやさしい整備事業補助金により、地球温暖化防止及び災害に強いまちづくりを目的とする「次世代エネルギーを活用したまちづくり」について調査した。

民生教育

愛媛県今治市・岡山県笠岡市・広島県福山市を視察しました

今治市のオーガニック給食は、自校調理方式により、地域食材を使った安全で温かい給食の提供と食育の推進、農業振興と地域経済の循環を実現している。

笠岡市の農福連携は、農業の働き手不足と、障がい者の働く機会を創出し、障がい者の地域における生活の自立化を図っている。

福山市では、福山100NEN教育を基に、フリースクールかがやきを市内3か所に設置し、多様な学びの場を提供している。

いずれも、行政と地域が連携し、関係者の工夫と努力、熱意による取組が効果を発揮している。これらを参考に政策提言へとつなげていく。

No.1

議員提出議案(意見書)について

市議会では9月定例会において「宮城県の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書」を全会一致で可決し、宮城県知事宛てに提出しました。

No.2

人事案件に同意・可決しました

今期定例会には、3か件の人事案件が提案されました。

◎監査委員

(9月6日上程・同日原案同意)

沼倉 雅枝氏(増田)

◎教育委員会委員

(9月6日上程・同日原案同意)

荒井 龍弥氏(杜せきのした)

◎人権擁護委員候補者

(9月6日上程・同日原案可決)

岩沼 裕子氏(相互台)

No.3

議会の構成が変更になりました

令和5年9月27日付で、荒川洋平議員及び大友康信議員より辞職願が提出され、9月28日の本会議において辞職が許可されました。

辞職に伴い、関係委員会において、欠員に伴う選挙等が行われました。

なお、今回の議員辞職により、本市議会議員の現員は19人となっております。

◎議会運営委員会

委員長 菅原 和子 (9月28日選任)

副委員長 笹森 波 (9月28日選任)

◎建設経済常任委員会

委員長 千葉 栄幸 (9月28日選任)

副委員長 板橋 美保 (9月28日選任)



No.4

議員協議会（8月21日）

○宮城県水道広域化推進プランについて

令和元年10月に施行された改正水道法において、水道の基盤強化を図るため、県の責務として市町村の区域を超えた広域的な水道事

業者間の連携等について規定されました。

このことを受け、県において広域化の推進方針を定め、これに基づき策定した水道広域化推進プランについて説明がありました。

No.5

令和4年度は、延べ2万917人の方々に議会中継を御覧いただきました

パソコンやスマートフォン、タブレット等で、議会のインターネット中継を視聴できます。ぜひ御活用ください。

令和4年度 視聴状況

| | 生中継 | 録画中継 |
|--------|--------|-------|
| 令和4年4月 | 384 | 142 |
| 5月 | 324 | 104 |
| 6月 | 2,596 | 340 |
| 7月 | — | 158 |
| 8月 | — | 227 |
| 9月 | 4,850 | 490 |
| 10月 | 94 | 279 |
| 11月 | 75 | 532 |
| 12月 | 3,309 | 596 |
| 令和5年1月 | 208 | 324 |
| 2月 | 1,272 | 438 |
| 3月 | 3,612 | 563 |
| 計 | 16,724 | 4,193 |

議会を傍聴しよう

会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局(022-384-2109)へお問い合わせください。



議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。

陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

議会を動画で見よう

本会議や議員協議会の模様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



令和5年12月定例会は、**12月4日(月)**開会予定です。

N WATCH

エヌ・ウォッチ

今号の表紙を飾ってくれた、**地域力お宝たんけん**の皆さんからお話を伺いました。



右から 団体代表 関田 康慶 さん
副代表 本郷 力夫 さん
副代表 柴田 義行 さん
副代表 畠山 道子 さん

団体の理念は何ですか

「ずっとずっと笑顔で愛のまち ゆりが丘・みどり台」です。

基本方針について教えてください

お宝たんけんの事業実施を通じた住民交流・親睦、地域課題の発見や解決に向けた活動を行っています。ゆりが丘・みどり台・他地域の隠されたお宝を皆で発見・創造して楽しむことです。

どのような活動を行ってきましたか

モニュメントや人材等のお宝情報の視覚化、お花見、ピザパーティー、健康講座、プロコンサート、尚綱学院大学との共同企画などです。

議会懇談会を開催します

市議会では、より近くで皆様の声をお聞きするため、議会懇談会を開催します。

全議員が3班に分かれて各会場に伺いますので、ぜひ皆様の議会や市政に対する声をお聞かせください。

また、様々な角度から御意見を伺うため、関係団体（参加は団体関係者のみ）との懇談会も併せて開催します。

○市民との懇談会（どなたでも参加できます）

| 開催日時 | 会場 | テーマ |
|----------------|------------------------|--|
| 11月7日(火) 19:00 | 下増田公民館 | ①なとりん号・なとりんくるについて |
| | 那智が丘公民館 | |
| | 関上公民館 | |
| 11月8日(水) 19:00 | 館腰公民館 | ②なとりんスーパーキッズ育成事業について |
| | 増田公民館 | |
| 11月9日(木) 16:10 | 尚綱学院大学 (尚綱学院大学学生のみ) | ③地域の課題等について(意見交換) ※なとりん号・なとりんくる交通ガイドブック(2023年9月発行)を御持参ください。 |

○関係団体との懇談会（団体関係者のみ）

- 11月13日(月) 名取市民生委員・児童委員協議会
- 11月14日(火) 名取市消防団
- 11月14日(火) 名取市鳥獣被害対策実施隊

編集後記

委員長
齋 浩美

9月定例会は別名、決算審査の議会と呼ばれています。令和4年度も新型コロナの影響がありましたが、市としてどのような施策や取組、対応が行われたのか、それを受けて市民にどのような影響が出たのか、幅広い視点で確認し、慎重な審査を行いました。

新型コロナの影響がありましたが、市

税収入や納税義務者数は増加しています。このような良い面だけではなく、それぞれの施策における課題も浮き彫りになりました。

今後も市議会として、課題の解決方法などを提案し、本市のさらなる発展と市民福祉の向上に尽力していきます。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

